

弥陀ヶ原の火山活動解説資料(平成27年11月)

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しています。

立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

噴火予報(活火山であることに留意)の予報事項に変更はありません。

活動概況

- 地震や微動の発生状況(図1)

弥陀ヶ原近傍を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。

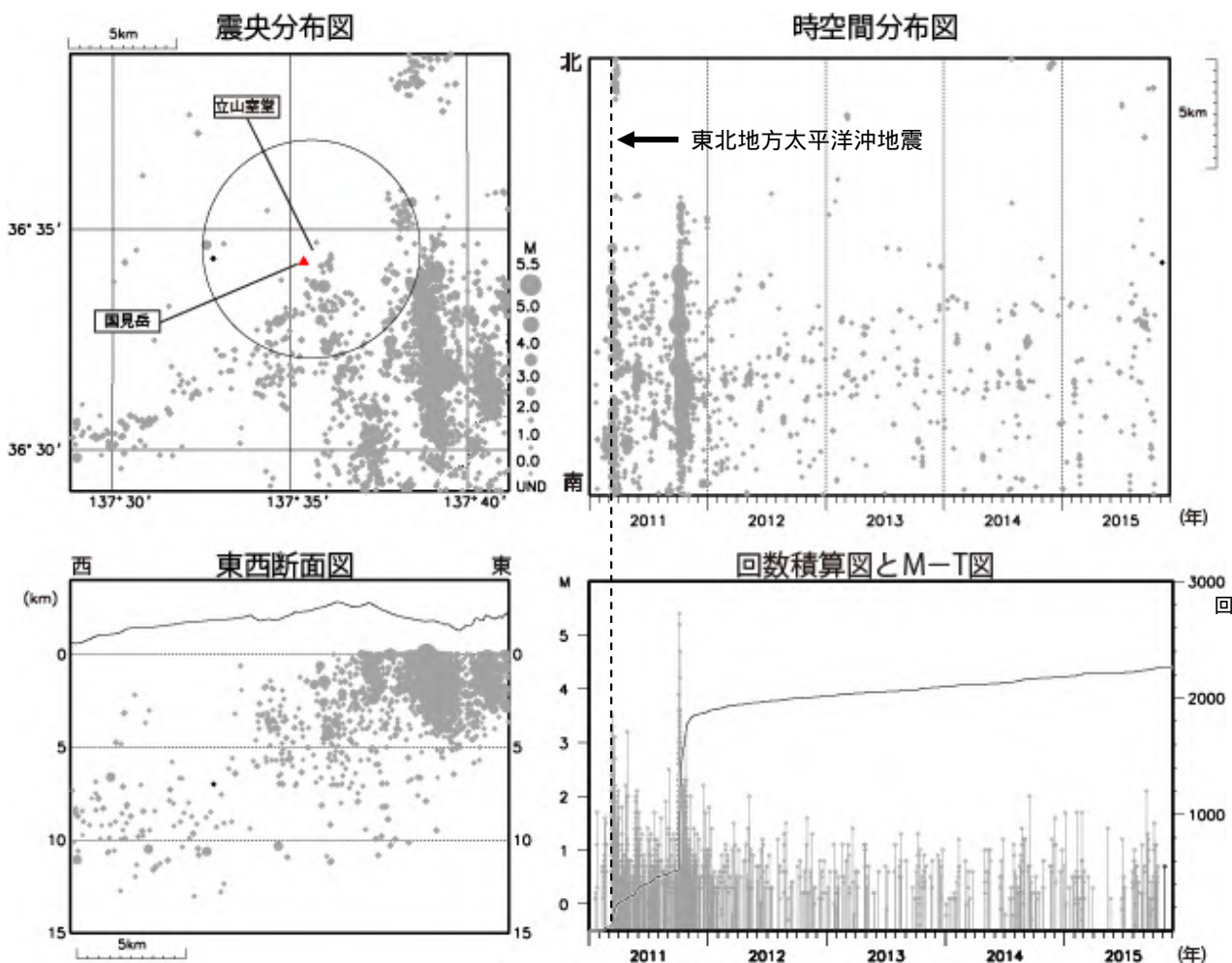


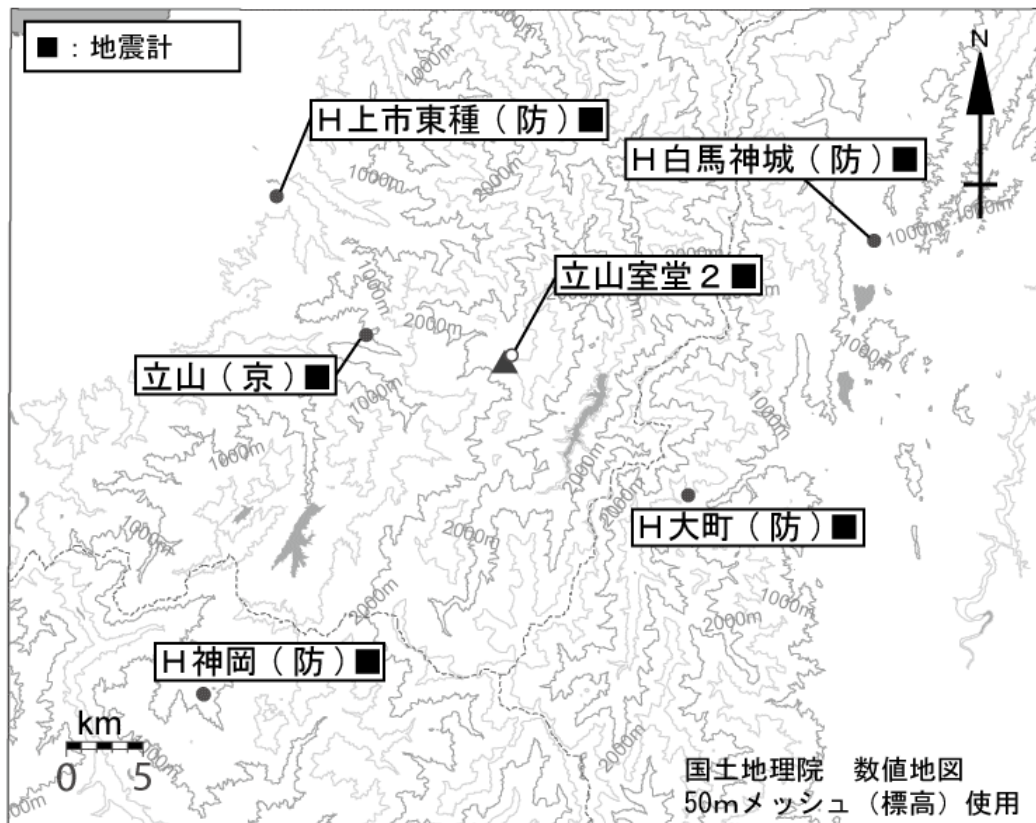
図1 弥陀ヶ原 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011年1月1日~2015年11月30日)

: 2011年1月1日~2015年10月31日 : 2015年11月1日~11月30日

- 震央分布図内の円は、立山室堂に設置した地震計(立山室堂2)で地震回数を計数しているS-P時間1秒以内となるおおよその範囲を示します。
- M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
- 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- 弥陀ヶ原近傍の地震活動は、低調に経過しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧できます。次回の火山活動解説資料(平成27年12月分)は平成28年1月12日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号:平26情使、第578号)。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(防): 防災科学技術研究所、(京): 京都大学防災研究所

図2 弥陀ヶ原 観測点配置図